

後藤松吉郎とは誰ぞ¹（七訂稿）
—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—

（令和 4（2022）年 8 月 7 日（日）現在）

（補正経緯）

HP 初出: 平成 22（2010）年 5 月 25 日（火）初稿作成
平成 22（2010）年 6 月 03 日（木）改訂稿作成
平成 22（2010）年 6 月 10 日（木）二訂稿作成
平成 22（2010）年 6 月 15 日（火）三訂稿作成
平成 22（2010）年 6 月 17 日（木）四訂稿作成
平成 22（2010）年 6 月 19 日（土）五訂稿作成
平成 24（2012）年 8 月 22 日（水）六訂稿作成
令和 4（2022）年 8 月 7 日（日）七訂稿作成
（副題を「明治警察史の一齣」から改題、レイアウトを全面変更し、一部補正、追加した。）

〔目 次〕

1 昭和5（1930）年5月30日「警察談話会」集合写真 ……………	1
2 後藤松吉郎（1849～1939）とは誰ぞ ……………	2
3 維新前後から山口県警部長（明治23（1890）年10月就任）就任まで…	3
4 山口県警部長時代（明治23（1890）年10月～明治28（1895）年3月…	4
5 台湾時代（明治28（1895）年6月～明治30（1897）年2月） ……………	4
6 内地帰還後（明治30（1897）年2月～） ……………	5
7 『史談会速記録』（史談会刊）所収談話等 ……………	6
8 その他論稿 ……………	11
【附録】明治警察史コーナーHP項目一覧（抄） ……………	11
【関連事項】 ……………	12

1 昭和5（1930）年5月30日「警察談話会」集合写真

・後藤松吉郎（1849～1939）は、一般には、明治28（1895）年3月下関で行われた日清講和談判の際に発生した李鴻章（1823～1901）狙撃事件（同年3月24日発生）時の山口県警

¹ 「法制史学者著作目録選（WEB版）明治警察史コーナー」参照。（平成 24 年 8 月 22 日追加）
(<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>)

部長で、懲戒免官となるが、その後まもなく懲戒免除の恩典を受け、新たに領有なった台湾に、文官第一陣として赴き、活躍した人物として知られている。

・先般、偶々、『警察協会雑誌』²を繙いていたところ、同第 359 輯（昭和 5 年 7 月 1 日刊）口絵に、主賓後藤松吉郎を囲み当時の錚々たるメンバーが揃った「警察談話会」（昭和 5 年 5 月 30 日夜、於学会館）での集合写真あり³。また、同第 475 輯（昭和 14 年 12 月 1 日刊）90 頁に、その訃報「後藤松吉郎氏—警察界の最古老として本誌にもお馴染の翁は十一月二十七日芝高輪南町の自邸に於て九十一歳の高齢を以て永眠せられた。」あり。いずれも、極めて貴重か。（平成 22 年 6 月 3 日一部修正、追加）

・しかば、後藤松吉郎とは誰ぞ。

2 後藤松吉郎（1849～1939）とは誰ぞ

・嘉永 2（1849）年 2 月石川県に生る。

・山口県警部長（明治 23（1890）年 10 月就任）までの経歴：高橋雄豺（1889～1979）『明治警察史研究 第 3 巻—露国皇太子の遭難事件・明治二十五年の選挙干渉・李鴻章狙撃事件

² 本 HP 別稿『警察協会雑誌』発行表参照。（平成 24 年 8 月 22 日追加）

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/keikyozasshi.pdf>

³ 当該「警察談話会」では、松井茂博士（1866～1945）の挨拶があり、後藤松吉郎の「維新当時の警察状態見聞」なる談話がなされた、最後に「座談会」が持たれたが、これらにつき、後藤松吉郎談「維新当時の警察状態見聞（1）」『警察協会雑誌』第 359 輯（昭和 5 年 7 月 1 日刊）84～91 頁（最初に「後藤氏略歴」、同「維新当時の警察状態見聞（2）」[完]」同第 360 輯（昭和 5 年 8 月 1 日刊）85～91 頁各参照。うち、同第 359 輯口絵に、当日の集合写真が掲載されている。同写真のキャプションは、次のとおりである（〔〕内は補註）。「警察談話会〔昭和 5 年〕五月三十日夜学会館にて開催。前列向つて右より土屋内務書記官〔土屋正三、1893～1989、大正 6 年内務省入省〕、石原社会局長〔石原雅二郎、? ～?、大正 3 年内務省入省〕、金井警察講習所教頭〔金井佐久、? ～?、明治 45 年内務省入省〕、鈴木本会主事〔財警察協会、鈴木千次、1867～1941、内務省⇒財警察協会〕、松井本会副会長〔財警察協会、松井茂、1866～1945、明治 26 年内務省入省〕、主賓後藤松吉郎氏（1849～1939）、高橋〔警視庁〕警務部長〔高橋雄豺、1889～1979、大正 4 年内務省入省〕、渡警察講習所教授〔渡正監、1897～1953、大正 10 年内務省入省〕、宇都宮内務事務官〔宇都宮孝平、1897～1988、大正 12 年内務省入省〕、後列、桑原内務事務官〔桑原幹根、1895～1991、大正 11 年内務省入省〕、佐藤本誌記者〔『警察協会雑誌』、佐藤進、? ～1942〕、田村警察講習所教授〔田村豊、1899～1933、大正 15 年内務省入省〕。」（平成 22 年 6 月 3 日追加、同 6 月 13 日一部修正）

警察政策学会資料第 110 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 2（2020）年 5 月 8 日刊）182 頁に「**附録**（警察史資料 4）後藤松吉郎とは誰ぞ—昭和 5（1930）年 5 月 30 日「警察談話会」集合写真から—」あり。（令和 4（2022）年 8 月 7 日追加）
< <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99110.pdf> >

一』(令文社、昭和38年7月20日刊)350～351頁に詳しい。

・昭和14(1939)年11月27日逝去、享年91(『警察協会雑誌』第475輯(昭和14年12月1日刊)90頁:後藤松吉郎訃報あり。)

・『東京朝日新聞』昭和14年11月28日(火)朝刊第11面(訃報)「後藤松吉郎氏 正五位勲五等後藤松吉郎氏は二十七日夕五時三十五分慢性腎臓病で芝区高輪南町五二の自宅で死去した。享年九十一、同氏は旧加賀大聖寺藩士で維新後明治政府に奉じ地方官に任じたが明治二十八年山口県警部長(現在の警察部長)当時李鴻章下関遭難事件の責を負って一時退官、同年台湾台中県初代書記官兼地方庁院長(ママ)に任ぜられて官界に復帰、奈良、秋田、福井、愛知各県書記官を経て明治三十七年退職、その後は赤十字社第一部長、赤十字社篤志看護婦人会協賛員として斯業に尽力し現在に及んだ。告別式は二十九日午後一時から自宅で仏式により執行」(平成22年6月3日追加)

・雅号は「千秋」(後掲『史談会速記録』『文苑』掲載各所に拠る。)(平成22年6月15日追加)

3 維新前後から山口県警部長(明治23(1890)年10月就任)就任まで

・後藤松吉郎談「維新当時の警察状態見聞(1)」『警察協会雑誌』第359輯(昭和5年7月1日刊)84～91頁(最初に「後藤氏略歴」、「松井(茂)博士挨拶」あり。)

・後藤松吉郎談「維新当時の警察状態見聞(2)[完]」『警察協会雑誌』360輯(昭和5年8月1日刊)85～91頁(最後に、講演後の「座談会」の一部要旨あり。90、91頁)

・『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第125巻、第126巻(各警察編、大空社、平成9(1997)年5月26日刊)⁴は、『警察協会雑誌』第395輯(昭和8年6月8日刊)にも「後藤松吉郎稿」があるとするが、同書掲載の「目次」中では発見できず、本文中に見出し得る(50頁:後藤松吉郎(寄)「幕府時代能拝見之盛儀」)

・本誌記者「署長・検事・典獄の三役を兼ねた 淡路時代の回顧—後藤松吉郎翁昔譚・(其1)一」『自警』⁵第17巻第194輯(昭和10年10月10日刊)82～97頁

・本誌記者「集会条例に関する姫路署警部告発事件 姫路・龍野の署長時代—後藤松吉郎翁昔譚・(其2)一」『自警』第17巻第195輯(昭和10年11月10日刊)94～97頁

・本誌記者「警視總監折田平内氏の懇望により 明治廿二年はじめて警視庁に籍を置く—後藤松吉郎翁昔譚・(其3)[完]一」『自警』第17巻第196輯(昭和10年12月10日刊)94

⁴ 『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第125、126巻:

<http://www.amazon.co.jp/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E6%96%B0%E8%81%9E%E9%9B%91%E8%AA%8C%E6%96%87%E5%BA%AB%E6%89%80%E8%94%B5%E9%9B%91%E8%AA%8C%E7%9B%AE%E6%AC%A1%E7%B7%8F%E8%A6%A7-%E7%AC%AC121%E5%B7%BB~%E7%AC%AC126%E5%B7%BB%E2%80%95%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E6%B3%95%E5%AD%A6%E9%83%A8%E9%99%84%E5%B1%9E/dp/4756805493/>(平成24年8月22日追加)

⁵ 本HP別稿『自警』発行表(戦前期)参照。(平成24年8月22日追加)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatoyoshi/jikei001.pdf>

～97頁

4 山口県警部長時代（明治23（1890）年10月～明治28（1895）年3月）

・高橋雄豺（1889～1979）『明治警察史研究 第3巻—露国皇太子の遭難事件・明治二十五年の選挙干渉・李鴻章狙撃事件—』（令文社、昭和38年7月20日刊）（収録論説「李鴻章狙撃事件」初出：「明治時代の警察部長—その誕生と変遷—（23）～（29）李鴻章狙撃事件」（23）：自警第41巻第3輯（昭和34年3月刊）～（29）：第41巻第9輯（昭和34年9月刊））

・『山口県警察史 上巻』（山口県警察本部、昭和53年10月10日刊）「第九章 日清・日露戦争と警察活動 第一節 李鴻章狙撃事件」558～583頁

・『下関市史 市制施行以後』（下関市役所、昭和33年3月30日刊）（「涉外」「日清講和談判と下関」658～674頁、後藤松吉郎関係：662～664、674頁）

・『下関市史 市制施行—終戦』（増補改訂版、下関市役所、昭和58年3月31日刊）（「涉外」「日清講和談判と下関」647～665頁、後藤松吉郎関係：651～653、665頁）

・明治28（1895）年3月26日 位記返上の件（国立公文書館デジタルアーカイブ参照。

〈<http://www.digital.archives.go.jp/>〉）

・明治28（1895）年3月26日 山口県警部長免の件（国立公文書館デジタルアーカイブ参照。〈<http://www.digital.archives.go.jp/>〉）

・井上馨（1836～1915）宛大浦兼武（1850～1918）書簡（明治28年4月1日）「馬関兇変世界へノ影響歎息 首相ヨリ広島へ召電アリ山口県知事拜命 馬関人心漸ク鎮静 原保太郎 [前山口県知事、1847～1936]・後藤松吉郎 [前山口県警部長] 被免 後藤朝鮮警察ニ仕途ナキヤ」

〈http://www.ndl.go.jp/site_nippon/kensei/kenseimoku/list/iuk2259.html〉

・明治28（1895）年6月17日 懲戒免除の恩典を受く。前掲『山口県警察史 上巻』582頁

5 台湾時代（明治28（1895）年6月～明治30（1897）年2月）

・明治28（1895）年6月3日 京都丸運輸指揮官となる。

〈<http://www.bl.mmtr.or.jp/~idu230/his/historyh/tasuku/kiroku/taiwann/jbw.htm>〉

・領台当初、台湾総督府設立業務に従事、督府開設時では内務部庶務課長。

・後藤松吉郎「文官最初の台湾入り」『台湾大観』（日本合同通信社、昭和7年12月25日刊）。台北・成文出版社、1985（昭和60）年3月影印本あり。）135～154頁参照。

・後藤松吉郎「後藤松吉郎君台湾征討の実歴談」『史談会速記録』第303輯（史談会、大正9年5月5日刊）1～19頁（『史談会速記録 合本40（第300～318輯）』（原書房、昭和

50年9月25日刊) 合本111~129頁) (平成22年6月10日追加)

・後藤松吉郎「後藤松吉郎君の台湾の統治に関する実歴談」『史談会速記録』第306輯(大正8年8月25日刊)1~17頁(『史談会速記録 合本40』(原書房、昭和50年9月25日刊)合本199~215頁)(平成22年6月10日追加)

・後藤松吉郎「大正九年十月例会に於て後藤松吉郎君の台湾統治の際に於ける実歴談」『史談会速記録』第325輯(大正11年3月30日刊)8~27頁(『史談会速記録 合本41』(原書房、昭和49年11月25日刊)合本176~195頁)(平成22年6月10日追加)

・後藤松吉郎「後藤松吉郎君⁶台湾統治に関する実歴談 第三百廿五輯の続」『史談会速記録』第367輯(昭和2年9月15日刊)6~12頁(『史談会速記録 合本43』(原書房、昭和50年3月5日刊)合本80~86頁)(上記第325輯の追加)(平成22年6月11日追加、同年6月15日一部修正)

・後藤松吉郎「後藤松吉郎君台湾統治に関する実歴談 第三百六輯の続」『史談会速記録』第367輯(昭和2年9月15日刊)12~17頁(『史談会速記録 合本43』(原書房、昭和50年3月5日刊)合本86~91頁)(上記第306輯の追加)

・後藤松吉郎「明治廿九年一月一日台湾八芝蘭に於て学務官僚遭難」『史談会速記録』第382輯(昭和5年2月28日刊)13~19頁(『史談会速記録 合本43』(原書房、昭和50年3月5日刊)合本583~589頁)⁷

6 内地帰還後(明治30(1897)年2月~)

・明治29(1896)年11月10日陸軍参謀本部長川上操六(1846~1899)に随行して台中から打狗(後の高雄)を経て、南清視察へ。明治30(1897)年2月上海から下関へ渡航、そのまま内地にとどまり、同年4月奈良県書記官に転任(後藤松吉郎「後藤松吉郎君台湾統治に関する実歴談 第三百六輯の続 [台中の話の追加]」『史談会速記録』第367輯(昭和2年9月15日刊)17頁(『史談会速記録 合本43(第365~382輯)』(原書房、昭和50年3月5日刊)91頁)に拠る。) (平成22年6月15日追加)

・明治32(1899)年12月28日現在 秋田県書記官(国立公文書館デジタルアーカイブ参照。
(<http://www.digital.archives.go.jp/>))

⁶ 第366輯(昭和2年7月16日刊)掲載分から、談話者の敬称を「氏」から「君」に再度変更か。ただし、「氏」のものもある。(平成22年6月11日追加)

⁷ 同稿の後に、佐倉孫三(1861~1941)「明治廿九年一月一日台湾八芝蘭に於て学務官僚遭難」『史談会速記録』第382号(昭和5年2月28日刊)20~27頁(『史談会速記録 合本43』(原書房、昭和50年3月5日刊)590~597頁)あり。ただし、同号「目次」に拠れば、後藤のものは「明治廿九年一月一日台湾八芝蘭に於て学務官僚遭難の実況」、佐倉のものは「同事件を目撃したる実況」とある。本HP別稿「佐倉孫三氏関係資料一斑 日本統治下台湾警察史の一齣一」参照。(平成22年6月15日、同24年8月22日各一部修正) (<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakura001.pdf>)

- ・明治33（1900）年5月22日現在 福井県書記官（国立公文書館デジタルアーカイブ参照。
〈<http://www.digital.archives.go.jp/>〉）
- ・明治38（1905）年5月20日現在 元休職愛知県書記官（国立公文書館デジタルアーカイブ参照。〈<http://www.digital.archives.go.jp/>〉）
- ・「晩年には日本赤十字社に勤務した。」（高橋雄豺前掲『明治警察史研究 第3巻』388頁）

7 『史談会速記録』（史談会刊）所収談話等（平成22年6月10、15日追加）

（参考）（平成22年6月19日一部修正、追加）

- ・『史談会速記録』については、原書房より、明治25（1892）年9月刊の第1輯から昭和7（1932）年5月刊の第395輯までを合本44冊にし、これに、「総索引」を付した復刻版（昭和46～51年刊）が刊行されている。下記では、同復刻版に拠った。なお、「総索引」については、『OD版史談会速記録・総索引』（原書房、平成16年1月刊）がある。

〈http://www.e-hon.ne.jp/hec/SA/Detail?refShinCode=010000000000031372903&Action_id=121&Sza_id=GG&Rec_id=1010&Rec_lg=101009〉

- ・ただし、柳生四郎（1906～?）・朝倉治彦（1924～2013）編『幕末明治研究雑誌目次集覧』（日本古書通信社、昭和43年7月20日刊）56～118頁は、『史談会速記録』の解題、目次（第1輯（明治25年9月刊）～第411輯（昭和13年4月15日刊））を掲載し、第411輯が当該時点で確認し得る最終号としている（同書264頁「あとがき」も参照。）ので、これに基づき、後藤松吉郎の論稿で上記合本未収のものをも追加した。

- ・後藤松吉郎：史談会評議員に、田尻佐（稲里、?～1929?）とともに、新たに囑託される（大正11年1月15日総会の決議に依り中川会長の指名の下（選定）、同時期に池辺義象続任）『史談会速記録』第325輯（史談会、大正11年3月30日刊）彙報33頁（『史談会速記録 合本41（第319～342輯）』（原書房、昭和49年11月25日刊）201頁）

- ・史談会会長：中川伯爵 中川久任（豊後岡藩、渋谷百軒店の元地所所有者）

『史談会速記録』第387輯（史談会、大正15年2月28日刊）彙報19頁（『史談会速記録 合本42（第343～364輯）』（原書房、昭和50年1月25日刊）339頁）

明治後の岡藩：〈<http://mickey827.seesaa.net/article/108582231.html>〉

（後藤松吉郎談話）

- ・1 後藤松吉郎「後藤松吉郎君台湾征討の実歴談」『史談会速記録』第303輯（史談会、大正9年5月5日刊）1～19頁（『史談会速記録 合本40（第300～318輯）』（原書房、昭和50年9月25日刊）合本111～129頁）
- ・2 後藤松吉郎「後藤松吉郎君の台湾の統治に関する実歴談」『史談会速記録』第306輯（大

正8年8月25日刊) 1~17頁 (『史談会速記録 合本40(第300~318輯)』(原書房、昭和50年9月25日刊) 合本199~215頁) (下記20に追加あり。)

・3 後藤松吉郎「後藤松吉郎君の見聞せられたる大和国の古蹟に関する談話」『史談会速記録』第310輯(大正9年12月25日刊) 15~23頁 (『史談会速記録 合本40(第300~318輯)』(原書房、昭和50年9月25日刊) 合本315~323頁)

・4 後藤松吉郎「後藤松吉郎君の越前に於ける武田耕雲齋一行に関する談話」『史談会速記録』第313輯(大正10年3月30日刊) 1~17頁 (『史談会速記録 合本40(第300~318輯)』(原書房、昭和50年9月25日刊) 合本383~399頁)

・5 後藤松吉郎「大正十年十月九日例会に於て後藤松吉郎君の琵琶湖の汽船並に川崎造船所の創業に関する談話」『史談会速記録』第323輯(大正11年1月30日刊) 1~11頁 (『史談会速記録 合本41(第319~342輯)』(原書房、昭和49年11月25日刊) 合本103~113頁)

・6 後藤松吉郎「大正九年十月例会に於て後藤松吉郎君の台湾統治の際に於ける実歴談」『史談会速記録』第325輯(大正11年3月30日刊) 8~27頁 (『史談会速記録 合本41(第319~342輯)』(原書房、昭和49年11月25日刊) 合本176~195頁) (下記19に追加あり。)

・7 後藤松吉郎「大正十一年二月例会に於て後藤松吉郎君の日清媾和談判に関する談話」(以下次号)『史談会速記録』第330輯(大正11年8月30日刊) 1~10頁 (『史談会速記録 合本41(第319~342輯)』(原書房、昭和49年11月25日刊) 合本305~314頁)

・8 後藤松吉郎「大正十一年二月十二日例会に於て後藤松吉郎君の下の関日清媾和談判並清国使節李鴻章遭難に関する談話」『史談会速記録』第331輯(大正11年9月30日刊) 1~44頁 (『史談会速記録 合本41(第319~342輯)』(原書房、昭和49年11月25日刊) 合本335~378頁)

・9 後藤松吉郎「大正十一年四月十六日例会に於て後藤松吉郎君の日清媾和条約に付三国干渉並清国使節李鴻章に兇害を加へたる小山六之助逮捕裁判に関する談話」『史談会速記録』第332輯(大正11年10月30日刊) 1~19頁 (『史談会速記録 合本41(第319~342輯)』(原書房、昭和49年11月25日刊) 合本383~401頁)

・10 後藤松吉郎「大正十二年一月十四日例会に於ける後藤松吉郎君の鮮満支視察談」『史談会速記録』第337輯(大正12年3月30日刊) 1~15頁 (『史談会速記録 合本41(第319~342輯)』(原書房、昭和49年11月25日刊) 合本507~521頁)

・11 後藤松吉郎「大正十二年三月十一日例会に於ける後藤松吉郎君の明治八年地方官会議の実況併〔並〕に立憲政体の起原に関する談話」『史談会速記録』第338輯(大正12年6月30日刊) 1~40頁 (『史談会速記録 合本41(第319~342輯)』(原書房、昭和49年11月25日刊) 合本529~568頁)

・12 後藤松吉郎「大正十二年五月十三日例会に於ける後藤松吉郎君の明治八年地方官会議の実況に関する談話の続き」『史談会速記録』第339輯(大正12年7月20日刊) 1~39頁

(『史談会速記録 合本 41 (第 319～342 輯)』 (原書房、昭和 49 年 11 月 25 日刊) 合本 573～611 頁)

・ 13 後藤松吉郎「大正十三年三月九日例会に於ける後藤松吉郎君の贈従三位前田利治公の事蹟 並 加賀九谷焼陶磁器の来歴に関する談話」『史談会速記録』第 345 輯 (大正 13 年 5 月 28 日刊) 1～9 頁 (『史談会速記録 合本 42 (第 343～364 輯)』 (原書房、昭和 50 年 1 月 25 日刊) 合本 45～53 頁)

・ 14 後藤松吉郎「大正十四年一月十一日の例会に於ける後藤松吉郎君の田口文蔵氏の事蹟に関する談話」『史談会速記録』第 350 輯 (大正 14 年 4 月 28 日刊) 1～11 頁 (『史談会速記録 合本 42 (第 343～364 輯)』 (原書房、昭和 50 年 1 月 25 日刊) 合本 149～159 頁)

・ 15 後藤松吉郎「大正十四年十一月八日の例会に於ける後藤松吉郎氏⁸の「竹内玄同翁と蘭医シーボルト氏」に関する談話」『史談会速記録』第 357 輯 (大正 15 年 2 月 28 日刊) 10～18 頁 (『史談会速記録 合本 42 (第 343～364 輯)』 (原書房、昭和 50 年 1 月 25 日刊) 合本 330～338 頁)

・ 16 後藤松吉郎「大正十五年三月二十日の例会に於ける後藤松吉郎氏の「越前万歳の起源 並に男大迹皇子 [おおあとめ、継体天皇] の古蹟」に就ての談話」『史談会速記録』第 359 輯 (大正 15 年 5 月 31 日刊) 11～18 頁 (『史談会速記録 合本 42 (第 343～364 輯)』 (原書房、昭和 50 年 1 月 25 日刊) 合本 379～387 頁)

・ 17 後藤松吉郎「大正十五年十一月二十一日の例会に於ける後藤松吉郎氏の「明治八年地方官会議の議案の実施、又其前後に於ける地方の状況」に関する談話」『史談会速記録』第 363 輯 (昭和 2 年 3 月 17 日刊) 1～15 頁 (『史談会速記録 合本 42 (第 343～364 輯)』 (原書房、昭和 50 年 1 月 25 日刊) 合本 483～497 頁)

・ 18 後藤松吉郎「昭和二年一月十五日の例会に於ける後藤松吉郎氏の「大行天皇奉悼」謹話」『史談会速記録』第 364 輯 (昭和 2 年 5 月 23 日刊) 11～15 頁 (『史談会速記録 合本 42 (第 343～364 輯)』 (原書房、昭和 50 年 1 月 25 日刊) 合本 537～541 頁)

・ 19 後藤松吉郎「後藤松吉郎君⁹台湾統治に関する実歴談 第三百廿五輯の続」『史談会速記録』第 367 輯 (昭和 2 年 9 月 15 日刊) 6～12 頁 (『史談会速記録 合本 43 (第 365～382 輯)』 (原書房、昭和 50 年 3 月 5 日刊) 合本 80～86 頁) (上記 6 の追加)

・ 20 後藤松吉郎「後藤松吉郎君台湾統治に関する実歴談 第三百六輯の続」『史談会速記録』第 367 輯 (昭和 2 年 9 月 15 日刊) 12～17 頁 (『史談会速記録 合本 43 (第 365～382 輯)』 (原書房、昭和 50 年 3 月 5 日刊) 合本 86～91 頁) (上記 2 台中の話の追加)

・ 21 後藤松吉郎「明治 [マ、慶応] 三年京都実見談 後藤松吉郎君」『史談会速記録』第 369 輯 (昭和 2 年 11 月 18 日刊) 6～17 頁 (『史談会速記録 合本 43 (第 365～382 輯)』 (原書房、昭和 50 年 3 月 5 日刊) 合本 136～147 頁)

⁸ 第 356 輯 (大正 14 年 12 月 1 日刊) 掲載分から、談話者の敬称を「君」から「氏」に変更。(平成 22 年 6 月 10 日追加)

⁹ 第 366 輯 (昭和 2 年 7 月 16 日刊) 掲載分から、談話者の敬称を「氏」から「君」に再度変更か。ただし、「氏」のものもある。(平成 22 年 6 月 11 日追加)

- ・22 後藤松吉郎「昭和三年三月十七日の例会に於ける後藤松吉郎氏の「牛込肴町行願寺仇討」の談話」『史談会速記録』第372輯（昭和3年6月10日刊）17～26頁（『史談会速記録 合本43（第365～382輯）』（原書房、昭和50年3月5日刊）合本253～262頁）
 - ・23 後藤松吉郎「昭和三年五月十九日の例会に於る後藤松吉郎君の「長州征伐の先鋒戦」に就ての談話 附京都合戦記」『史談会速記録』第374輯（昭和3年8月10日刊）12～31頁（本文：12～20頁、京都合戦記・京都風聞記：21～31頁）（『史談会速記録 合本43（第365～382輯）』（原書房、昭和50年3月5日刊）合本309～327頁（本文：309～316頁、京都合戦記・京都風聞記：317～327頁））
 - ・24 後藤松吉郎「前田采女利昌と織田監物秀親と刃傷に就ての談話 後藤松吉郎氏」『史談会速記録』第376輯（昭和4年3月10日刊）19～32頁（『史談会速記録 合本43（第365～382輯）』（原書房、昭和50年3月5日刊）合本379～392頁）
 - ・25 後藤松吉郎「昭和四年六月二十二日上野韻松亭の例会に於ける「加賀鳶の由来唄〔？並？〕加賀鳶と仙石兵庫との葛藤」」『史談会速記録』第380輯（昭和4年8月25日刊）1～27頁（『史談会速記録 合本43（第365～382輯）』（原書房、昭和50年3月5日刊）合本503～529頁）
 - ・26 後藤松吉郎「明治廿九年一月一日台湾八芝蘭に於て学務官僚遭難」『史談会速記録』第382輯（昭和5年2月28日刊）13～19頁（『史談会速記録 合本43（第365～382輯）』（原書房、昭和50年3月5日刊）合本583～589頁）¹⁰
 - ・27 後藤松吉郎「明治二十年前後の政況 後藤松吉郎君」『史談会速記録』第385輯（昭和5年6月28日刊）23～33頁（『史談会速記録 合本44（第383～395輯）』（原書房、昭和50年6月20日刊）合本115～125頁）
 - ・28 後藤松吉郎「昭和五年十月の例会「明治四年の富士登山と静岡に於ける名士訪問」 後藤松吉郎君」『史談会速記録』第389輯（昭和6年4月10日刊）1～11頁（『史談会速記録 合本44（第383～395輯）』（原書房、昭和50年6月20日刊）合本241～251頁）
 - ・29 後藤松吉郎「昭和七年三月二十六日例会播州姫路家中騒動 後藤松吉郎」『史談会速記録』第395輯（昭和7年5月30日刊）1～14頁（『史談会速記録 合本44（第383～395輯）』（原書房、昭和50年6月20日刊）合本527～540頁）
- （以下『合本』未収のもの。柳生四郎・朝倉治彦編『幕末明治研究雑誌目次集覧』（日本古書通信社、昭和43年7月20日刊）に拠る。）（平成22年6月19日追加）

¹⁰ 同稿の後に、佐倉孫三（1861～1941）「明治廿九年一月一日台湾八芝蘭に於て学務官僚遭難」『史談会速記録』第382号（昭和5年2月28日刊）20～27頁（『史談会速記録 合本43』（原書房、昭和50年3月5日刊）590～597頁）あり。ただし、同号「目次」に拠れば、後藤のものは「明治廿九年一月一日台湾八芝蘭に於て学務官僚遭難の実況」、佐倉のものは「同事件を目撃したる実況」とある。本HP別稿「佐倉孫三氏関係資料一斑―日本統治下台湾警察史の一齣―」参照。（平成22年6月15日、同24年8月22日各一部修正）（<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakura001.pdf>）

- ・30 後藤松吉郎「大田錦城家系及生立」『史談会速記録』第398輯（昭和8年9月1日刊）？～？頁（大田錦城：1765～1825）
- ・31 後藤松吉郎「南部家より公儀へ献上物に就て」『史談会速記録』第402輯（昭和9年11月25日刊）？～？頁
- ・32 後藤松吉郎「東方芝山小伝」、「東方芝山小伝（続）」『史談会速記録』第410輯（昭和12年8月20日刊）？～？頁（東方芝山：1813～1879）

（『史談会速記録』「文苑」、「文藻」掲載詩文）（平成22年6月15日追加、同年6月17日一部修正）

- ・後藤松吉郎 和歌、俳句（ただし、後藤松吉郎のは他の掲載物全部が和歌であることから、この俳句が同氏のものかは断定できないが、掲載の形式上はそのように見られる。）「大正十五年五月三十日内藤鳴雪翁追悼会にて」第370輯（昭和3年2月18日刊）「文苑」37頁 合本43（第365～382輯） 199頁
- ・後藤松吉郎 和歌「春水」第372輯（昭和3年6月10日刊）「文苑」27頁 合本43（第365～382輯） 263頁
- ・後藤千秋 和歌「夏短夜」、「折にふれて」第375輯（昭和3年9月10日刊）「文藻」20頁 合本43（第365～382輯） 354頁
- ・後藤松吉郎 和歌「橋梅雨」、「筆」第376輯（昭和4年3月10日刊）「文苑」36頁 合本43（第365～382輯） 396頁
- ・後藤松吉郎 和歌「悼田尻佐君逝去」、「霊祭灯」第378輯（昭和4年6月10日刊）「文藻」21頁 合本43（第365～382輯） 459頁（田尻佐：田尻稲里（？～1929?））
- ・千秋 後藤松吉郎 和歌「秋風冷」第381輯（昭和4年12月28日刊）「文苑」26頁 合本43（第365～382輯） 564頁
- ・後藤松吉郎 和歌「卯花」、「雀」、「竹亭夏月」第385輯（昭和5年6月28日刊）「文苑」35頁 合本44（第383～395輯） 127頁
- ・八十翁 後藤松吉郎 和歌「海辺巖」、「里若菜」、「花満山」第387輯（昭和5年9月28日刊）「文苑」35頁 合本44（第383～395輯） 207頁
- ・後藤松吉郎 和歌「庭菊」、「秋雨」第388輯（昭和5年12月28日刊）「文苑」20頁 合本44（第383～395輯） 232頁
- ・後藤千秋 和歌「迎春」、「月下擣衣 [とうい]」第389輯（昭和6年4月10日刊）「文苑」46頁 合本44（第383～395輯） 286頁
- ・後藤松吉郎 和歌「窓前鶯」、「馬車」第391輯（昭和6年7月10日刊）「文苑」20頁 合本44（第383～395輯） 434頁
- ・後藤松吉郎 和歌「暁雞声」、「日本武尊」、「鷺」、「納諫」、「平和」第394輯（昭和7年4月10日刊）「文苑」18頁 合本44（第383～395輯） 522頁

(第396輯～第411輯掲載分については未調査。)

8 その他論稿

・後藤松吉郎「加賀鳶の由来(1)」『大日本消防』第7巻第11号(昭和8年11月刊)(未見。皓星社「雑誌記事索引集成データベース」に拠る。)(平成22年6月15日追加)

〈<http://zassaku-plus.com/authorize.php>〉

【附録】明治警察史コーナーHP項目一覧(抄)(令和4(2022)年8月7日追加)

・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本HP掲載「PDF版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉

・「PDF版松井茂久『警官陶冶篇』(増訂三版、明治25(1892)年2月18日刊)」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉

・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉

・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑(碑文全文、付句読点文、書下し文)—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰—明治警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉

・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉

・「坂元純濤、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉

・「国分友諒顕彰碑について(再訂稿)—原田弘先生のお教えに接して—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉

・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人—明治警察史の一齣—」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉

・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」(本稿)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉

- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑―明治警察史の一齣―」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

【関連事項】（令和4年8月7日追加）

- ・法制史学会： 〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館： 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）
〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

（了）